

ドラマティック日本史 第4弾

「みかん船で有名な男の数奇な人生」

～紀伊國屋文左衛門～

講師：玉田 玉秀齋 先生

日時：3月9日（月）10：00～11：40



■紀伊國屋文左衛門

紀州に生まれる。実像は不明な点も多い人物。若くして江戸に出る？ 江戸は17世紀には人口100万人近い世界最大級の都市。江戸は憧れの存在であった。

■材木商・廻船業で成功？

江戸は「火事と喧嘩は江戸の華」と言われた。建築用の材木は常に需要があり、材木商や物資を運ぶ廻船業も儲かった。

■紀州みかんの商売「江戸に着けば、みかんは黄金になる！」みかん船の伝説 紀州で余っているみかんを江戸へ運び、高値で売って巨利を得た話は有名。船頭に江戸に着いたら望みの褒美を取らせると約束して出港。

■江戸一番の豪商になる？吉原で豪遊？

稼いだ金を吉原などで派手に使い（一晩で千両を使い、店を丸ごと貸し切った）散らした。その後没落したと言われている。

■大名に金を貸す？

江戸時代には財政難の大名が町人から金を借りることはよくあった。

■小判を庭にまく？

雪の日に客人が来たとき、「足が滑るといけない」と庭に小判をまいた。

■江戸の大火で財産を失う？

■晩年の没落？

豪遊の末に財産を失った。

★紀伊國屋文左衛門は一人の人物というより、江戸豪商のイメージを集めた象徴的人物

